

明治初期の石川県鳳至郡女性教員「若島杖」の日記(1878-1879)に関する研究(その1) :  
日記解読を中心に

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大久保, 英哲, 中田, 幸江 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/34393">http://hdl.handle.net/2297/34393</a>

# 明治初期の石川県鳳至郡女性教員「若島杖」の 日記（1878-1879）に関する研究（その1）

— 日記解読を中心に —

大久保英哲 中田幸江\*

## A Study on the Diary(1878-79) Written by Tsue Wakashima, a Female Teacher in Ishikawa Prefecture in the Early Meiji Era (Part 1) :Contents of the Diary

Hideaki OKUBO and Sachie NAKADA

### はじめに

筆者らは平成19(2007)年、現金沢大学学校教育学類附属幼稚園の前身「私立金沢幼稚園」開設準備に向けた保母伝習のために、明治17(1884)年に東京女子師範学校へ派遣された2人の女性小学校教師、井口織兄、若島藤枝について調査を進めていた。いわば石川県幼児教育のパイオニアであり、派遣時は井口が師範学校補助教員、若島が鳳至小学校六等訓導であったことが「石川県学事報告」第1号(明治17年7・8月)にみえる<sup>1)</sup>。このうち若島藤枝については輪島市教育委員会への問い合わせにより、現輪島市鳳至町上町在住の若島正夫氏がその関係者であることが分かった。

平成21年秋に若島正夫氏宅に伺ったところ、残念ながら若島藤枝にかかる有力な史料はなかったが、代わりに見せて頂いたのが若島藤枝の母に当たる杖の日記であった。(写真1参照)

若島家の家系は調査の緒に着いたばかりであり、まだまだ不明な点が多い。当主の正夫氏(談)や戸籍記録によれば、かつて薬種商を営んでいた若島家は代々家督を継いだ者が儀右エ門を名乗る慣わしがあったとされ、若島杖は儀右エ門の長女として文政12(1829)年7月17日に生まれ、やがて婿養子となって儀右エ門を名乗ることになった夫との間に、藤枝と長男(儀右エ

門)が生まれたものであるらしい。若島杖は生年が分かるものの、没年不詳であり、娘の藤枝は没年が分かるものの生年は不詳である。

ただ『輪島男児尋常高等小学校沿革史』<sup>2)</sup>には「同年(明治8年:筆者)十月女兒修學を望むもの日に多きを加へたるを以て、蓮江寺を借受けて校舎に充て、錦繡小学校を創設す。若島杖・黒川兵四郎教員たり。之を本町に於いて女兒小學校の嚆矢とす。是より先當町字鳳至町の人若島杖・寄留者橘春の女流、各自宅に私塾を設け、以て女生を教授せり」との記述がある。



写真1 若島杖日記 表紙

平成24年10月4日受理

\* 金沢大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻(現金沢市立千坂小学校教諭)

すなわち、若島杖は明治8年頃、鳳至町の自宅で私塾の師匠として女兒を教授しており、その後、女兒就学の増加に伴い、同年10月に創設された錦繡小学校の教師になったことが確認できる。

また、現輪島市立大屋小学校に保管されている『宅田小學校沿革誌』<sup>3)</sup>には、杖が明治10年6月から明治12年9月まで宅田啓沃小学校に「教師補」として勤務し、給料三円だったことが記録されている。すなわち、この日記は、寺子屋や私塾の師匠から近代学校の教師へと移り変わっていった時期の、また教師という職業が女性に対しても開かれた最初の頃の、ひとりの女性教師の日記という位置づけができるであろう。後述するように、明治11年12月2日には「二日 本日ヨリ教授例決義ニ付 輪島彝訓両主之組合校教員不残四拾三名内女教員身共六名集會ス／輪島主校へ出勤之初」とあり、輪島彝訓両主之組合校(10校)には全部で43名の教員がおり、そのうち女子教員は杖を入れた6人であったと見られる記述がある。こうした近代学校設立当初の女性教員がどのような生活や教育実態を持っていたのかについては、史料的な限界があって、これまでほとんど明らかにされていない。

そこで、本論稿ではまず、この日記を忠実に掘り起こしてみたい。なお、この日記の撮影、翻刻、研究史料として公表することについては若島正夫氏より了承を得ていることを付記して感謝申し上げたい。

## 1. 若嶋杖の「日記」について

### 1) 「日記」の形状

若嶋杖の「日記」は、現輪島市鳳至町上町の若島正夫宅に保管されていた史料である。和綴じで縦16.7cm×横11.8cmの大きさであり、150頁にわたって、墨筆で文字が書き込まれている。

### 2) 「日記」の内容と執筆者

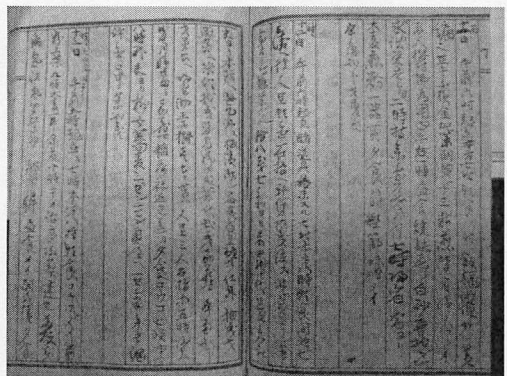
「日記」は明治11(1878)年12月1日から明

治12(1879)年9月20日まで断続的に記されている。杖が教員として鳳至郡の小学校へ勤務したこと、給料、食生活、自身の病気が主だった内容である。記述には脱字、訂正箇所も散見され、自筆の生活日記であると考えられる。以下に解読した試案を示す。

## 2. 若嶋杖の「日記」記述(試読)

(凡例)

1. 脇に書かれている文字は小文字で表記した。
2. 誤字と思われる漢字についてはそのまま表記し、(ママ)と表記した。
3. 墨で塗られている箇所は■で表記した。
4. 墨で消されている箇所は—で表記した。
5. 掠れて判読不能な場合には、( )にその旨を記した。
6. 解読不能の文字は□で表記した。
7. 断定が困難でさらに今後検討が必要と思われる文字は■(網掛け)で表記した。
8. 丁番号は筆者記入。1, 2, 3丁にあるアラビア数字は罫線外に書かれていた数字である。
9. 改行されている箇所は／で表記した。



### 表紙

紀元二千五百三十八年／日記／明治十一年／甲寅十二月 若嶋杖所持／四十九年六ノ月□□  
1丁 逢見ぬと／思ふ心の／先たちを／袖に／しられぬ／道芝乃露／ 明治十一年十二月一日  
ヨリ 諸日記／ 丑降／一日休業 本日スガ女白

餅十五柳十持参 リヲ女白餅九ツ持参 8/午後四時宅へ帰ル/ 寅□□/二日 本日<sup>ヨリ</sup>教授例決義<sup>ニ付</sup> 輪島尋訓両主之 9/組合校教員不残四拾三名内女教員身共六名集會<sup>ス</sup>/輪島主校へ出勤之初

卯降/三日 同 10/ 辰曇/四日同 本日角藤内ギ<sup>テ</sup>蘿蔔十六本黒大豆壺弁蜜柑二十 11/柳 四品宅へ持参/ 巳大雨/五日 出勤 スガ女牛莠十九杷芋ノ子五十ヲ 宿へ持参之由聞 12

2 丁 午雨/六日 出勤 本日月給三円受取直<sup>ニ</sup>柳女<sup>ニ</sup>渡ス 傍<sup>ニ</sup> 三九席(門、内?)居 13/

未晴/七日同 本日迄<sup>ニ</sup>集會終ル 14/ 申快晴/八日休業 午後二時三谷内来ル<sup>本日</sup>課両子へ壺対送ルヲダハラト在中 15/ 酉曇/九日

啓沃校に出勤本日米田ヨキ<sup>中</sup>蘿蔔壺連宅へ持参 16/ 戌雨/十日 上井ミテ柳四十斗持参澤田久左エ門<sup>ヨリ</sup>日当壺円貳拾錢 17/前月三十日分受取炭壺使キノ/ 亥晴/十一日 貸拾五錢寺下屋ヨリ借用式十壺錢蘿蔔 18/七拾本代借用内五錢爲下姉<sup>ニ</sup>貸送ス/壺連宿ヨリ貰拾錢油貳合求柚干ノ諸種/送リ来ル坂本ヒナ芋子壺袋持参江上スエ蘿蔔/十二本持参<sup>我宅</sup>ヨリ昆希(ママ) 三牧大根漬四本伴天壺枚受納/ 子晴/十二日 本日ヨリ平井とらより<sup>へ</sup>居/蘿蔔壺連 森田中橋上井寺田 <sup>ル</sup>

四連別<sup>ニ</sup>中橋ヨリ胡蘿蔔<sup>ヨリ</sup>五錢借用 19/ 丑晴/十三日/ 刀降雪少 20/十四日 壺斗七升入壺 錢/九錢アキ樽一ツ 姫五合使田口姉拾貳錢<sup>□□</sup>より<sup>□□</sup> □□金代 21/ 卯 初雪三寸斗/十五日休業 柚干製午後四時三十分宅へ帰ル治良帰宅由

22/逢事但シ十三日帰宅也少不快午後九時大田口母死/去柳女送ス治良ノ路用壺円四郎左エ門へ渡ス十六日使柳女/ 辰雪降終日/十六日 午前十一時宿へ来<sup>ル</sup>柚干シマツ終午後十時迄ニ 23/ 巳晴/十七日 出校ス大田ノ事故ヲ述ベ忌引シ十一時宅へ帰リ其夜大田之 24/宅ニ住へ八時ヨリ午前七時迄徹夜ス

3 丁 午雪午後雪下ル/十八日 大田ノ葬式へ参ル我身柳女貞吉<sup>次</sup>ニ三谷内十一時宅ニ帰ル貞

25/吉柳女取持十二時ヨリ持病指起リ臥ス同日大原ノ番傳若島富/榎各五錢宛/雪下ル/十九日 病同断 26/ 申 雪下ル/二十日 病氣紙面指出シ助合ヲ依頼ス 27/ 酉/二十一日 病甚シキニ付午後ヨリ帯座薬用之 28/ 戌/二十二日 同断 29/ 亥/二十三日 病甚シキニ付黒田先生珍(ママ) 察事十全大補湯 30/三帖用ヒル同日<sup>治良</sup>宿ノ道具ヲ次<sup>口</sup>シテ帰ル藤枝氏丈へ紙面/送ス/ 子/二十四日 前方 31/ 丑/二十五日 伊藤先生珍(ママ) 察ヲ願フ主方<sup>ニ</sup>僂艾四物湯二帖 32/散薬二帖兼用藤枝丈急紙面遣ス/ 寅雪下ル/二十六日 主方ハ前方散薬各ニ帖三谷内来ル宅田村四郎平 3/ヨリ大根一束持参ス牛黄円價五十錢カ丸田様持参金/箔五錢<sup>功</sup>若<sup>同</sup>人持参ス/ 卯/二十七日 主方前方二帖散薬二帖中佐ヨリ金平糖壺袋 4/持参ス<sup>ム</sup>キス/ 辰/二十八日 主方前方ニ帖黒田様見舞西端へ金壺円外利足 5/金十四錢二錢宛ニシテ七月分渡ス西端母「ナカマシ」二十持参シ

4 丁 三谷内ヨリ白サト一包括持参シ送ル宅田村七兵衛母串柳二十/持参シ送り藤枝<sup>様</sup>来ル午後十時着出村<sup>ヨリ</sup>日付之由/ 巳/廿九日主方散薬用キス

十二年一月晴/一日治良貞吉年賀ニ出ル薬壺帖呑ム

5 丁 二月二十八日 吠本直三より内大正元七品丸八拾八粒有合送ス/三月九日夫元□□品丸二百五十二粒ト十四粒合二百六十六粒/三月九日大元<sup>但</sup>壺<sup>リ</sup>□□二十五品丸<sup>ニ</sup>□□<sup>五</sup>粒ト<sup>少</sup>□□十四粒合貳百□十九粒/ 快晴/二月十二日 治良帰校/ 晴/二十四日 藤枝帰校/二十八日 海苔包通運へ出ス貨二拾錢七厘目形老匆二百匆/明治十二年三月大<sup>一</sup>日ヨリ改日記 若嶋杖四十九年八ヶ月/ 曇天日よし/二日 平井氏来ル月級(ママ) 受取書印<sup>ヲ</sup>ス 治良<sup>ヨリ</sup> 二月十七日/發之書状着四郎左エ門使キズ薬壺□製煉/ 降/三日 藤枝<sup>ヨリ</sup>二月二十八日發書状着<sup>ス</sup>大嶋<sup>ヨリ</sup>便<sup>リ</sup>来<sup>ル</sup>/渡辺氏宿料等式円六拾五錢柳女受納之事日料三十一日分<sup>二月一日ヨリ</sup> 三月三



前六時下り。朝飯麦飯布汁／昼麦飯コウコ。照念寺家ヨリ漬鯖ハツ来<sup>ル</sup>有合之由也／ナシモノ二十クル。使吉加。開<sup>バ</sup>ニツかへ送ル。ナシモノタタキ脩ム。夕麦飯鯖之カス煮。下り止帽子表六ツ分縫合ス／快晴／二十八日 午前七時下り。朝カコ。カウコ。柳女洗物スル。／センコー把。昼麦飯ジンバソノマキヤキ。大沢村ヨリ／舟方来り征毒丸<sup>ナ</sup>十四包代五拾錢四厘／口菓七包代十四錢 膏菓一貝代弍錢合計六拾五錢／四厘受納<sup>ス</sup>醬油五合夕麦飯鱈煮付平井先生／来<sup>ル</sup>下り止<sup>ス</sup>／時々風／二十九日 柳女中居觀音様御礼參詣<sup>口</sup>だけ／頃貨拾錢送ス午前六時出立。十一時。瘦<sup>口</sup>出ス。／御佛前ヲ初掃除ス。午後一時昼飯香物。六時三十分／柳女帰宅。洗米戴。御菓吞脩<sup>テ</sup>後朝每五粒ヅツ戴事。／蕨晴堂改来<sup>ル</sup>。夕麦飯シシツポ。ウチミ汁本日ヨリ榮太より／丈太より

10 丁 晴日よし／三十日 朝方カラミソツコウコ。貨拾錢たけへ日料送ス。／藤枝丈ヨリ十五日出シ紙面之返文到来ス二十三日認之／銀煙管送ラル。寶莖之細工涎然綱女より送ラル。／三谷姉さ来<sup>ル</sup>藤枝さノ分相渡<sup>ス</sup>。硯<sup>老</sup>求ム。夕麦飯。ヲコヂ汁。昨日恵物替<sup>ル</sup>／晴天／三十一日 朝オカラミソツ香物 昼同断 四郎左エ門／急飛脚午後三時出立ノ由ニテ 治良江梅干<sup>老</sup>包送<sup>ル</sup>／夕飯硯汁本日ヨリ負吉夜職賞家門中一統二食ス／午後六時三十分／晴天／四月一日 朝白粥<sup>ニ</sup>香物。本日迄觀音様御菓満日也／昼飯塩鯖一統。中佐門初<sup>テ</sup>席中ならび来<sup>ル</sup>長く／順シテ帰らず麦少送<sup>ル</sup>。穴水ノ糟漬ノ爪(ママ)貰<sup>フ</sup>。／午後五時三谷江仕事持<sup>テ</sup>柳女行七時四十分<sup>ニ</sup>帰<sup>ル</sup>／草餅<sup>ト</sup>白砂糖少貰<sup>テ</sup>帰<sup>ル</sup>夕飯シマイ汁也／吉助之七尾行<sup>ニ</sup>付手拭一筋送<sup>ル</sup>。セキタ油五合求 代十一錢／晴風吹／二日 朝飯<sup>ニ</sup>爪(ママ)漬綱子三谷<sup>ニ</sup>行五拾錢仕立物料銀金／柳女受取<sup>ル</sup>。昼飯オカラ汁。帽子ノ表十七縫合ス。夕飯オ<sup>ノ</sup>カラ汁七時頃<sup>ニ</sup>弥まさ来<sup>ル</sup>御餅<sup>老</sup>袋持參十時頃／帰<sup>リ</sup>

11 丁 晴 天長節時／三日 朝オカラミソツ漬菜 平井先生<sup>ヨリ</sup>集會／日日曜日ヲ止<sup>メ</sup>更<sup>ニ</sup>

第一土曜日由報告之紙面／到来。清取書ノ印章押使彦三姉。昼飯鱈ノ／子漬。夕飯干鱈。午後九時二十分渡辺氏着／久和ヨリ貞吉借用スル事署ヲコシ綱女土産賞。／鱈ノ子漬求四錢二厘粒七ツ利助ヨリ炭<sup>老</sup>俵取<sup>リ</sup>／晴／四日 朝飯香物。昼ハバ。夕鱈炙物。午後／七時稲屋者ノ河波様傳言<sup>テ</sup>両子便聞事十五日頃<sup>口</sup>口／焔熟之由河井木地やさ白米弍斗五升持參代／七錢之定 山久母死去 蘿蔔二十四本<sup>ヲ</sup>漬<sup>ニス</sup>／快晴／五日 朝白粥<sup>ニ</sup>香物。主校<sup>ニ</sup>集會快席事故／書指出ス事但シ渡辺君ニ依頼<sup>ス</sup>事榮太郎<sup>ニ</sup>為持送ス／此度<sup>ヨリ</sup>土曜日集會ニ<sup>口</sup>改<sup>ル</sup>主校<sup>ヨリ</sup>戻<sup>ル</sup>取締へ／指出ス。昼鱈トハバト煮<sup>ブ</sup>タシ。平井氏来<sup>ル</sup>取締席へ／出<sup>ス</sup>新築家三校<sup>ト</sup>異道表<sup>ト</sup>ロカンセイ<sup>類書</sup>口口明日出シ／呉トノ由存<sup>口</sup>口。彦左エ門母さ貞吉ノ作料持參／金弍円中勘 夕飯干鱈午後九時湯<sup>ニ</sup>入濱原三郎／久与母死去午後十時吉ノ可、帰<sup>ル</sup>豆鱈ニ本綱女貰木地やヨリ白米ニ斗五升／晴天日よし日／六日 朝コケ湯漬香物此日平井君依頼紙面送ス／使勝太より午前第八時 昼飯黒藻酢味噌。本日初<sup>テ</sup>酢

12 丁 少シ食<sup>ス</sup>治良<sup>ヨリ</sup>紙面到来<sup>ス</sup>使相上四月三日發／午後六時初而産宮參詣<sup>ス</sup>久与母葬送白衣直シ／手傳。醬油五合求丸山村ニテ炭四俵代三拾二錢山本村／孫左衛門内大根十八本代<sup>ニ</sup>錢七厘 足駄紐<sup>老</sup>代<sup>六</sup>錢／綱正午<sup>ヨリ</sup>發熱午後八時セン菓一貼渡辺君戴用<sup>ノ</sup>ユル事九時頃<sup>ヨリ</sup>而後本礼寺使僧午後一時歸明方／着八十二才遣僧之由女一人来<sup>ル</sup>由付々并五人前<sup>ト</sup>中佐<sup>ヨリ</sup>聞／雨強／七日 朝飯胡麻酢合本日綱女ヘナ組為シ 東組円／用也。疵菓貝誥。五錢飴四ツ。三錢語十。老<sup>ノ</sup>錢<sup>五</sup>語<sup>弍</sup>拾別<sup>ニ</sup>拾貝宅田持<sup>行</sup>。又大貝二ツ／角藤ノ内来<sup>ル</sup> 貞吉使僧參詣。足駄紐<sup>ニ</sup>タス<sup>後</sup>夕黍団子。小豆煮。飯香物<sup>口</sup>豆腐ト小豆ト／汁貞吉昨夜ヨリ別夜職／晴／八日 朝小豆粥香物 金弍円米代中勘木地や渡ス／使先方之下女 昼飯塩鱈 夕飯鱈ノ子を堅魚／春祭り入費出金三錢 金弍円本地や米代四<sup>口</sup>雨強／九日 朝粥香物 昼<sup>口</sup>晒汁 夕飯コンニヤク／椎茸<sup>老</sup>御取<sup>更</sup>。油子<sup>ダ</sup>口兼。

13 丁 雨強／十日 朝飯ニ平油の汁ニ水菜。昼干蘿蔔ニ芹／本日終日後島渡延ヒル御宗止ム夕煮田米長福寺役僧／来ル切残十四日醤油壺升鯨や店ヨリ借使吉之中宮乳母来ル金イ／晴天／十一日 朝湯漬香物。仁太より来ル本日島渡也海荒／存宗止 昼飯煮田米ニ干紫蕨堂干鱈芹ノシタシ物／浅田奥方来ル正午貞吉産宮参詣夕飯／干鱈十日十一日フミ津村行昨日鱈ノ子二十求代拾銭／快晴／十二日 朝白粥香物 金式円木地やに柳女持行内ぎ／留口之由ハ婦に渡ス由。本日ヨリ渡辺君義／郡役所請付役人出勤之古又。<sup>大</sup>為沢君来ル。／昼飯豆腐。残香物 三谷内両子へ送物紙面等持参／一寸五〇〇一寸〇芋ト柳女持帰る正午。弁当玉子トジ／夕飯鯨煮付葱家内一統。三谷内佛前御蠟燭一包<sup>五丁</sup>持／参。六厘佛前御蠟燭求二丁也。若布三銭五厘求<sup>ル</sup>／鯨拾銭弁当之網袋到来<sup>ス</sup>宅田真照寺處／本日ヨリ法事羊羹壺本渡辺君ニ貰／晴日よし／十三日 朝白カユコウコ 昼若布煮物 金澤両子へ紙／面送<sup>ル</sup>弥三女壺封 封中外ニ紙包添使相上 渡辺君／シクチヨク 夕飯ブエン漬大根。柳川内ト大野内ト

14 丁 兩人<sup>タテ</sup>油五合取價拾九銭味噌十銭切使直衛／晴天／十四日 六時四十分金澤両子に紙面<sup>ニ</sup>紙包等出ス使相上／フミニ為持送ス 朝白カユコウコ 十二時長福寺様月／忌御布施三銭役僧式銭トカシワカシマ等御茶／小倉羊羹鳥柿茶菓子。小倉壺本持帰レル昼飯／焼豆腐網女宅田法事参詣フミ弁当持参タケ同屋／にて帰り午後三時。夕飯シハツボ打身汁青菜。家内中／本日誤テ脩日慎ミ夕飯青菜シメモノ 三谷内来ル／菓ノ菱餅ニ枚生菓子三ツ烏柿三ツ貰。貞吉處／昼後<sup>ヨリ</sup>仕事先休取廻門掃除寝酒老合。相上昼立之由／線香ニ杷求／ 雨強日／十五日 朝白カユカウコ 渡辺君〇〇〇姉／水口行使勇屋吉貨三拾銭之由 久保菓頼九味／取寄使フミ 昼飯オカラ汁 半衛内生姜代渡ス／夕飯豆腐玉子閉／雨／十六日 朝白粥香物 昼飯若布ト豆腐ト水菜／ケンチン<sup>ニ</sup>午後二時三十分<sup>ヨリ</sup>寝出シ四時二十分迄六時五十分／勇吉帰<sup>ル</sup>夕飯干大根

汁

15 丁 快晴土用／十七日 朝白カユコウコ 昼飯干大根煮コンロ張／シヤツ。自洗。午後四時五十分夕飯煮魚米。干鱈コウコ午後／五時出立。照念寺宅まで。太素麴七袋土産。を母病キ／七時三十分着 白米式升持参ス 皆月久四郎姉さ為／カン病人に参居。油三合余。醤油壺本。干タラ。ワカメ。／生姜。大素麴二袋。ヤキ塩二ツ。トウツケキ。ウテエンド／式合斗。稲屋村五郎左衛門一昨日發足之由申来り照念寺宅よりすみかり／七時臥ソレヨリ脩身讀 吉ノ内夜分ニツき送ル／セキタン油式合使吉ノ内／快晴／十八日 朝飯煮付<sup>テ</sup>干梅。八時五十八分出校<sup>ス</sup>弁当干梅。／餅米壺升斗中橋たけ持参お代五リン水くます／赤飯壺重江上スミ持参お代五リン本日主校<sup>ニ</sup>先生／集會山本校先生小伊勢校先<sup>ニ</sup>啓沃校へ来<sup>ル</sup>三人同屋／にて正午主校へ出勤但<sup>シ</sup>ナカオ大先生———／兩名須校之由 午後二時帰宿赤飯半重宿へ上ル／夫ヨリ二時<sup>間</sup>斗寝。吉ノかかさ来ル。二階之物下さす／沢田へ送スほうし地持来ル。赤飯半重かれて送ス／もち米宅へ送ス。ハツをり帰スおまる宿へ持来ル／大鯨壺枚持参之由。午後七時本防へ行御茶菓子／頂戴ス。奥方ヨリ新貨五円拝借<sup>ス</sup>同柳女へ送<sup>ル</sup>事。

16 丁 封<sup>シ</sup>認<sup>ル</sup> 御題紙調脩ム机引出シ掃除夕飯シツト／ワカメ。炭小俵一ツ七衛ヨリ持来ル。式円七拾銭渡<sup>ス</sup>米代／決算使柳女而て熊三郎次郎門へ〇円三拾銭文具〇家升決算／快晴／十九日 早朝四郎家へ行。町行之使頼<sup>テ</sup>直子逢六時／半頃姉来ル則宅に送ル品々頼<sup>テ</sup>柳女へ錢面<sup>ニ</sup>新／貨五円送ス朝飯麦まし煮。権<sup>ニ</sup>蕨<sup>ニ</sup>シツブク／か、江ニ一椀上ル。コウコ二本貰。八時半出校<sup>ス</sup>角藤スカ／鳥柿壺袋持参<sup>ル</sup>半分先生へ上ル五ツ中榮／送ル昼弁当コウコ宅ヨリあんがイト付かる十筋／姉持帰る夕飯干鱈艾葉ト目<sup>ト</sup>せんして／吞。イヌノ物宅迄送ル使四郎衛姉醤油壺升使フミ／福田店式円三拾銭文五郎店米代決算使柳女。主渡ス由／晴 昼後雨／二十日 日よし 午前八時起朝麦飯太素麴汁コウコ

／七衛行小澤へぼうし送ス 正午宅へ帰る直衛  
へ／立寄サツマイモ百日かり綱女へ土産平井先  
生／中江ツ来松子江本才勇公マク中栄子不／  
参御料理飯酒ソヨハチメ。サシミ。ザン汁。小  
ハチメ／ウス塩炙物。海をト青菜菓子椀御茶。  
生菓／子マンヂウ。聖念寺母屋へ海をトハチメト  
マンヂウト／土産送ル山田君宅へ行をさし一ツ  
呈ス御茶干

17 丁 菓子等頂戴<sup>ス</sup>帰りかけに残三へ寄り由に  
菓／子送ス。夕飯ザン汁ハチメウス塩 ソヨ余  
身塩漬／ソヨニツ エビカツ 小バチメ 酒七  
合五勺代 マンヂユ シヂウ一ツ／二十五銭  
六銭 七銭五リン 九銭八リン 三銭 六銭  
晴風雨／二十一日 朝飯新願冬汁。芹シタシ。  
昼昨日之残汁コウコ／午後二時浅田氏へ行帰り  
五時夕飯フエン漬セキタン油／式合白藤<sup>新築</sup>店  
ウテエンド三合才勇公下駄置料七リン／テツ  
ビョウ九本代取替庄之助渡ス使フミ

快晴／二十二日 朝小豆カユ。コウコ水出し。  
胡麻醤油。鏡／一枚求<sup>ル</sup>。蓬菜大豆。五銭切中  
佐店。ソヨハチメ薄／塩余身。角ランプ<sup>等</sup>右品々  
持帰宿。たけ送<sup>リ</sup>来る／戸籍帳二冊本防へ借<sup>ス</sup>但  
シ河井町鳳至町／正午着。薩摩芋百目直衛店<sup>ヨリ</sup>  
取。土産内一ツ／たけ<sup>ニ</sup>送ル昼飯素麴汁。午後  
四時伊藤先生母屋の／療治に御越<sup>ニ</sup>付茶ト廉菓  
呈<sup>ス</sup> 夕麦飯ト栗加かか屋ト／聖念寺宅<sup>ヨリ</sup>搗麦  
壺升斗貰。雑巾ノ地ト紐かか筋／スカ。スミ  
快晴／二十三日 八時五十分出校 朝麦飯太素  
麴汁コウコ昼弁／当梅漬若布布月給三円受取ト  
リノコシ少七衛ヨリ貰

18 丁 コウコ漬<sup>ス</sup>済<sup>ス</sup>切しめ拵 酒二合内ヨリ使  
才勇君夕麦／飯朝汁残。スカ。スミ。雑巾さし  
上受取又二人れぬニツ／ソヨ薄塩炙身一切／  
晴／二十四日 朝飯切じめ七時五十分出校弁当  
切しめ／正午角藤内き宅ヨリ。コトヅケモノ受  
取置品鯉／節一本色ユハ三ツ五十一銭母宅へ去  
年借用也／口々決算 夕麦飯ユバカツ<sup>オダシ</sup>テ<sup>テ</sup>壺  
円母宅ニ壺円上ル新貨／壺円。トリノコシ少。  
紙面一封宅へ送ル認メ△板ト羽トウチハトヘラ  
トヨトウシメ五品ハ穢物送<sup>ル</sup>認<sup>メ</sup>／ 雨／二十五

日 午後七時認物状箱へ入送<sup>ル</sup>穢物も送ル使  
田郎栄太郎朝白カユ切シメ 線香二把送り来<sup>ル</sup>  
本日／休清作<sup>ヨリ</sup>鰻五ツ生菓子五ツ取 角藤<sup>ヨリ</sup>  
／味噌壺重持来<sup>ル</sup>十一時<sup>ヨリ</sup>臥四時頃同日覚ムル  
／夕飯ワカメマキヤキ ラバコ<sup>シ</sup>ル一椀貰<sup>ヒ</sup>又飯  
食<sup>ス</sup>／御佛前御花送ス使栄太郎／ 快晴 土よ  
う／二十六日 朝飯メ汁。シメモノ。七時三分  
出校ス／十二時仕舞帰宿昼飯麦茸麴ト椎茸煮  
物。キリジメ。／黒大豆三合斗母屋<sup>ニ</sup>貫同煮大  
豆に成生姜入。早ツケギ

19 丁 壺<sup>ツ</sup>買<sup>フ</sup>線香使才勇君宅ヨリ貰使両子之  
紙／面午後七時着手才勇君ヨリタカユニマメ／  
凡正午頃ヨリ少本病之氣さし七時半ヨリ／午前  
一時か鶏聲聞師範学校両子へ送ス／書面認 小  
便五度 線香七本焼 夫ヨリ臥／ 晴 日よし  
／二十七日 休業七時半頃柳女白米持参来ル  
／昼刻帰る 両子へ送ス文ゆうひんへ持行／拾  
銭<sup>ニ</sup>足海銭渡ス<sup>ル</sup> 柳女へ朝飯シメモノ／松風一  
袋ト鹹三ツ<sup>角</sup>藤イチ持参 味噌壺重／中へ大根  
茄子<sup>等</sup>漬<sup>テ</sup>平スミ持参。角藤スカ／へ遣刺手習料  
壺銭六厘送ル同平スミへ壺／銭四リン送ル 昼  
麦飯絨色付ハチメ等午前／十一時に下り物三勺  
斗きふんあしく生徒右三名／教受<sup>ス</sup> 午後二時  
宅へ茶品取<sup>ニ</sup>三名送ス御／佛前御花為持送ス  
穢品柳持行ウルシ重／少遣の使右三名艾葉七包  
宅ヨリ送<sup>ル</sup>□□□□□□筋右やせ一俵沢田<sup>ヨリ</sup>使  
平スミ／ 曇／二十八日 朝白カユ。コウコ。  
七時四十分出校<sup>ス</sup> 昼弁当

20 丁 持参<sup>ス</sup> 七時半宅ヨリ送<sup>リ</sup>物沢田内キノ  
持来ル品／魚包物壺ツ 紺かな五十節 正午昼  
飯切シメ八ツ目／鰻色付二串先生ヨリチワケ午  
后五時帰宿ス／物鯛四ツタナゴーツ右料理<sup>ス</sup>  
ユンリロ貰<sup>テ</sup>有<sup>テ</sup>／オ□□トカ杖石橋かし 午  
后八時御薬戴臥／夕麦飯みそつけコウコ午後五  
時血五勺余下ル／ 曇／二十九日 午<sup>中</sup>六時血  
五勺斗下ル七時御薬戴 朝飯貰<sup>フ</sup>弁当持参キリ  
シメ七時五十分出校<sup>ス</sup> 子芋壺升／求使山嶋  
可々代五銭 味噌漬鯛三枚三谷ヨリ送<sup>レ</sup>ル／二  
枚宿へ 柳女両子へ分送<sup>ル</sup>加栄少認 子芋／三  
十斗穀餅少黒大豆少風呂敷二ツキ又袋一ツ／認

送<sup>ル</sup>手当ス 午後四時五十分御薬戴七時/夕飯  
鯛煮付ワカメ加。六時血少々下ル終日ふ下九時臥  
/本日夕ヨリヤスニテ正福寺殿法事/晴風吹/三  
十日 六時血三勺斗下ル七時御薬戴八時朝飯/  
麦飯子芋煮付コウ弁当煮付持八時二十分出校/  
午後一時血下ル三時帰宿四時御薬平井イトマゴ  
ニイニ/来<sup>ル</sup>則六時見送行き昼刻帰ル七時夕飯  
ハチメ/鯛残しまふ々々五時頃血三勺斗下ル

21 丁 晴天/五月一日 本日ヨリ三週間休  
行午前七時御薬/同時柳女来<sup>ル</sup>白米老升とがす  
二十九日認物六品ト/味噌ト持帰ルスか女来<sup>ル</sup>  
朝白カユキリシメ昼飯/麦ハン大素麩汁ト芹コ  
ウコ富岡由女来<sup>ル</sup>絵/手本清書共四十枚借<sup>ス</sup>  
スカ女綿入仕済<sup>シ</sup>持帰<sup>ル</sup>/四時御薬吞夕飯八時  
鯛ミソ漬 梅干一曲宿<sup>リ</sup>/貰九時臥夫<sup>ヨリ</sup>又麵  
平へ才勇公ト連立<sup>テ</sup>行/明日屋下村勇大先生シ  
ヤウダイニ送ス飛脚也/曇天/二日 八時  
起夫<sup>ヨリ</sup>御薬せん用ユル今朝血水下/朝飯十時  
三十分十一時母屋ノカユ煮<sup>ル</sup>夫<sup>ヨリ</sup>又臥午/後二  
時起東フキ次ト東ヨリ求代老銭昼飯并/口四時  
御薬五時御佛供水や済ス 夕飯カユ フキ/コ  
イモユバホカツホダシ三人前七時食ス終日/血  
止梨一ツ<sup>ハ</sup>鱈一枚他ニ弥之女<sup>ヨリ</sup>折箱海苔一把/  
才勇君ニコトツケ受納<sup>ス</sup> 母屋へ梨二ツ鮑一ツ  
/才勇公ニ<sup>ハ</sup>カレニ枚平江先生手送/ 雨晴日  
よし/三日 午前七時御薬朝飯貰 七時二十分  
宿<sup>ヲ</sup>出ル

22 丁 八時三十分主校に集會昼弁当富岡<sup>ヨリ</sup>持参  
<sup>ル</sup>/ヤキトウフタタノコズイキ。瓜粕漬茄漬午  
后四時頃/帰リガケ三谷に<sup>テ</sup>祈<sup>テ</sup>立寄五時五十分  
立富に寄帰宿七時御薬貰梨食夕飯八時三十分京  
願冬/鹹色付ダシニカナガシラ汁貰。煮大豆本  
日血少下ル/山崎又送ス先生又手送午后八時帰  
ル/ 晴 日よし/四日 午前七時四時起 母  
屋オマルヤル御薬貰/十一時朝食カユカウコ  
夫ヨリ沢田行 久左衛門に/日当之書付送ス  
使仁三郎午後五時帰宿 肥佐/多先生着御宿本  
防七時母屋診察之事/七時四十分御薬上ル八時  
夕食煮大豆白身/の御せんして置終日御薬貰  
血少下ル本日炭/入リコ張致子之ヤブレヲソク

ウ十一時醉入スマキスシ/夜食<sup>ヲ</sup>臥/ 晴/五  
日 午前七日御薬夫<sup>ヨリ</sup>八時肥佐多先生母屋/  
診察同自身一診<sup>ヲ</sup>頼終而主方書貰薬用事/二ヶ  
月ノ見込主方吞附子焼老包五分乾口内/五分評  
就口老包川芋三郎生地貰老勿/此品ハ先生ヨリ  
ナマヲ送り送ス此度七品口持参

23 丁 迄出<sup>スト</sup>願定之甘草老ト漢東人參三郎/  
水老合半入老合各一日二三服 服用之事夫ヨリ  
/本防迄見送<sup>リ</sup>同住寺<sup>ニ</sup>頼下ノ事談<sup>ル</sup>事其時十  
一時相/帰リ鮑カナカシラ等料理ス 伊藤君見  
舞冬眼/佐多御越談議ノ事両君御立カナカシラ  
焼物鮑葱/御束本防に送<sup>ル</sup>両漬口處ニ品送<sup>ル</sup>午  
後一日病人に/カユ相至海苔 自身モ同時初飯  
冷飯ニコウコ/暫時寝ル四時薬又病時之薬煮用  
ユル 九時一貼/両度手傳<sup>ス</sup> 川尻孫左衛門式  
月給求取<sup>ニ</sup>送ス 使/岩北地ソメ来下リさる由  
返書持帰<sup>ル</sup> 米老磨磨/夕飯八時フキ タナコ。  
醤油一本才勇君持帰<sup>ル</sup>

晴/六日 午前七時御薬朝飯貰八時立九時帰宅  
昼/ヨリ京願冬十本持行同時<sup>ニ</sup>宅<sup>ニ</sup>て飯食コウ  
コ夫ヨリ/取締席へ級料受取二出ル マトメ之  
ナク存帰宅ス/刀祢<sup>ヨリ</sup>ハチメ九ツ貰森店母病  
氣七ツ送ス/鯛式百買價式拾七錢柳女トシテ拵  
塩漬<sup>ス</sup>白子/煮<sup>ル</sup>願冬芹等茄<sup>ヲ</sup>午後三時白子塩煮  
二一飯中佐へ見/舞行夕飯塩タナゴ網女トシテ  
食久与内赤飯一重持/来<sup>ル</sup>則食<sup>ス</sup>夫<sup>ヨリ</sup>入湯フミ  
ト二人帰<sup>リ</sup>十時直臥貞

24 丁 吉人形芝居招カレ行十一時半途<sup>ニ</sup>帰ル/  
本日金老円式拾錢渡ス/ 雨晴/七日 六時起  
御神東物<sup>ヲ</sup>又臥<sup>テ</sup>柳女ト一時三十分程/書<sup>シ</sup>合八  
時<sup>ニ</sup>起<sup>ル</sup>夫ヨリ御佛前参詣<sup>ス</sup>朝食カユカウコ/大  
沢宮崎君来<sup>ル</sup>又臥取締席へ出<sup>ル</sup>森屋母さへ見舞  
イ/海苔貰テ帰<sup>ル</sup>昼食塩鯛二ツ 久保店<sup>ヨリ</sup>益氣  
湯/煉薬三十包ハチ蜜三勺使柳さ煉合而ハツカ  
セン/四十包高森母さ送<sup>ス</sup> 價三拾錢ト申送ス  
茄豌豆<sup>ヲ</sup>二合/若布百目余海苔少線香二把鱒  
三ツ吹寄少生/菓子二ツ饅頭四ツを持帰宿柳女  
送<sup>リ</sup>来夕食京願/冬<sup>ニ</sup>五日夕残仕舞コウコ皆月  
姉妹来<sup>リ</sup>居事病人/手不入七時三十分臥/ 雨  
曇/八日 九時頃起<sup>ル</sup>山崎カカサ水汲<sup>リ</sup>十一時

初食コウコ／煮大豆若布等餛飩<sup>ア</sup>病人<sup>ニ</sup>菓子ト茶菓<sup>ト</sup>進ス／新願冬一把貰夕飯<sup>ト</sup>願冬<sup>ト</sup>海苔<sup>ト</sup>煮病人ヘモ一／椀進<sup>ス</sup>午後十時又食<sup>ス</sup>十一時臥

四時御菓吞終／雨弱／九日 午前七時起<sup>テ</sup>掃除 石橋へ行市行頼九時／朝食ジンバリト干梅 炭一俵求價四錢七厘五毛ノ由／九厘五十也 25 丁 右ハ宿ヨリ取替使石橋カ、サ 昼食海苔 午後三時／七衛に行川尻孫左衛門に級料受取<sup>ニ</sup>送ス也／角藤内<sup>シホ</sup>ハチメニツ持来ル柳女<sup>ヲ</sup>送<sup>リ</sup>之由夕食／七時カユ塩ハチメ病人<sup>ニ</sup>石橋カ、サだく酒壺合斗／佐次郎<sup>ヨリ</sup>貰<sup>テ</sup>来<sup>ル</sup>七衛着来川尻返文持参 本日／殘強燃蓋拵<sup>ヲ</sup>宅へ調物壺封も品々米菓油醬油腐豆氣／殘等認／晴／十日 七時起 病人同変八時朝食若布コウコ昼食同／角藤ヨリ孟宗大壺本貰イチサン来スカスミ正午／芹摘<sup>ニ</sup>送ル 三名共艾葉願冬等摘<sup>テ</sup>帰<sup>ル</sup>孟宗宅へ送ル／使石橋姉白米五升斗玉子ニツ<sup>ニ</sup>鱈<sup>ニ</sup>ツ<sup>ニ</sup>塩ハチメツ油二合／斗醬油小ビン一本上茶壺袋<sup>薄</sup>三丁御菓腐豆小半丁／六品取<sup>ニ</sup>送<sup>ス</sup>取<sup>ヘ</sup>十品送<sup>テ</sup>受納之事 小豆ニ合斗宿<sup>ヨリ</sup>貰<sup>テ</sup>午後三時三名女婦<sup>ヲ</sup>御菓貰夕食小豆汁<sup>ニ</sup>腐豆加米壺升／磨肥佐多先生<sup>ヨリ</sup>生地貰御送<sup>リ</sup>則宿之梅木下<sup>ニ</sup>埋貯／晴日よし／十一日 午前七時御菓八時朝食カユ干梅同時石休場小学校／ヨリ舍達持来ル主校へ集會之事則八時十五分出ル九時三十分に／主校へ出頭<sup>ス</sup>午後二時宅へ帰ル道筋当住宅へ立寄<sup>ル</sup>山作店ヨリ／作苧烟草草ツ取ル代十三錢也塩鱈糖漬<sup>ニ</sup>成<sup>テ</sup>昼食イワシート

26 丁 夕食イワシニツ。オハギ拵<sup>ヲ</sup> 柳女<sup>ト</sup>フミ。人形芝居見物網女／貞吉身<sup>ト</sup>為<sup>レ</sup>之役。帰り午前一時過 スカ女味噌壺包宿に持来ル／雨 晴／十二日 朝食カユコウコ水漬午前十一時立相上たけ見送<sup>リ</sup>上ノ／作衛ヨリ泉香借代式錢其而ヨリ一把求代五リン十二時宿着<sup>ス</sup>／昼食小豆之御汁カウコ午後四時御菓夕食メイ干梅本日愚／僧之虱二階より落大騒／晴／十三日 午前七時御菓五時三十分田<sup>服</sup>へ行き使之者朝食刻カ、サ／来ル柳女呼<sup>ニ</sup>送<sup>ス</sup>七時三十分<sup>ニ</sup>来<sup>ル</sup>夫ヨリ下ノ物二階へ上ル本日／ヨリ住居朝食カユ。メイ十時沢田ヨリ級料等新貨拾四／円。壺錢持

来<sup>ル</sup>同時<sup>ニ</sup>小伊勢校教員来<sup>ル</sup>新貨六円渡ス／但<sup>シ</sup>平井君書付ト引替沢田呼<sup>ニ</sup>出ス則来<sup>ル</sup>雜費貨／五円壺錢相渡<sup>テ</sup>受取書持参之事則<sup>ニ</sup>四錢八リン／平井君之取替受取自身級料三円受取昼食湯漬／メイ七時御菓夕食九時玉子。塩ハチメ半分。本日干鱈二枚／才勇君宅ヨリ持参。一枚進<sup>ス</sup>本日両子ヨリ返書着ス。使<sup>テ</sup>柳女。貰別条。傳三枚封中。四錢八リン。宿へ炭價借／用返済ス トラサルゾヤイ／快晴／十四日 午前七時御菓朝食九時メイ十時眠ル七衛使来<sup>ル</sup>起サル／十一時三十分之昼食カユメイ齒染<sup>ル</sup>髮スク椿原<sup>ヲ</sup>へ錢

27 丁 四厘渡ス但し漬置ニ把代夕食<sup>ニ</sup>飯菜子芋ト干松に／海苔三品煮物干鱈少。御口煎口<sup>ニ</sup>十枚。炙付せんへい二枚。宿／ヨリ貰 九時臥 血少下ル 本日も米壺升磨／晴／十五日 午前七時御菓九時朝食味噌ガカユメイ十時／才勇君屋下肥佐多君へ漬菓取<sup>テ</sup>出立病人同受取小豆飯好<sup>ク</sup>／に付十一時煮<sup>ル</sup>宅乞出ス分認味噌<sup>壺</sup>本<sup>ト</sup>重送<sup>ル</sup>七衛重来<sup>ル</sup>／七衛<sup>ヨリ</sup>日当六十錢受持受取使者拾錢母屋ニ渡借用返済／置立拾三錢受取。三錢田<sup>福</sup>か、之受取使手分宅ヨリ醬油／中一本大鱈三ツハチメツ鱈一枚泉香一把使田<sup>福</sup>昼食／小豆飯メイ。スカ女<sup>ニ</sup>シヤツ渡ス物イチ兩人来<sup>ル</sup>芹取<sup>ニ</sup>送<sup>ル</sup>夕食麦飯。炙鱈鯉煮付 病間<sup>ニ</sup>伯<sup>ノ</sup>ニ九時臥血下ル／四時漬菓載也／快晴／十六日 午前七時漬菓十時朝食冷飯<sup>ニ</sup>願冬煮染／芹シメモノ午後二時七衛山崎田へ行。帰り三時 四時御菓／網子来<sup>ル</sup>フミタケ清太丸煎餅八枚炙付煎餅二枚母屋網女へ。／芹一把送。小ゾウケ穢者返す／午後四時酒貰又山崎へ使頼行留之處<sup>ニ</sup>之<sup>ニ</sup>□□□□□品に／新左衛門氏見へ左但<sup>シ</sup>中居参詣迎ノ帰り也久助子昨年ヨリノ

28 丁 願由御公事御菓<sup>ニ</sup>て快氣御礼参<sup>リ</sup>ノ由也迎之人十人余子供／等小川迄午後五時帰<sup>リ</sup>之同時<sup>ニ</sup>夕飯カユメイト干梅六時才勇君帰<sup>リ</sup>宅使文臥六時三十分也 午前三時頃ヨリ雨強出<sup>テ</sup>血少々下ル／本日ハ終日下ル／雨／十七日 午前七時御菓十一時朝食麦飯<sup>ニ</sup>願冬<sup>ト</sup>干芋莖／煮物メイ照念寺内<sup>ギ</sup>ヨリ新貨式円借用八月二十日／迄

借約定一ヶ月一円二分利足定メ宅ヨリ草団子一包／才勇君に送<sup>レ</sup>則半分同人に送ル四時御葉七時病人ノ之好<sup>テ</sup>温鈍ニ梳求来ル自身一梳代老銭二リン也渡ス。トラノサルゾヤイ八時食夕食麦飯ニ塩鱈一ツ茶ノ出殻醬油串柿五ツ才勇君ニ貰団子一ツ食十時<sup>ニ</sup>臥終日ノ血下リ不止夜<sup>ニ</sup>入テ止<sup>ル</sup>茶殻之御蔭<sup>ニ</sup>テ午前三時迄目カモレ鶏之声余程聞眠ルノ晴日よしノ十八日午前七時御葉十時朝食麦飯メイ同三十分<sup>ニ</sup>本防へノ行奥方に借金返済但シ新貨五円別<sup>ニ</sup>式拾銭ノ二ヶ月利足都合五円式拾銭求渡ス十一時才勇君想<sup>テ</sup>行午ノ后四時御葉四分品さだく酒一杯持参ル宅へ御葉ノ焼饅<sup>シ</sup>塩小米木店<sup>取</sup>申送ス皆参ル別<sup>ニ</sup>申メイ干鱈ハチメ等ノ持来ル使米田ヨキ七時帰ル六時夕食打<sup>ス</sup>豆汁<sup>ニ</sup>茗荷

29 丁 小角豆煮付八時血余程下ル同時臥ノ雨ノ十九日午前七時御葉米壺升磨朝食白カユ干芋茎ト海苔トノ打豆三品煮物串竿布烟草入キレツギ物ム本防奥方芋団子七ツノ小重<sup>ニ</sup>持参貰<sup>口</sup>口(掠れて二文字判読不可能)ニ五ツ食ス四時御葉山之助内ギにノ炭頼<sup>ハ</sup>五錢渡<sup>シ</sup>夕食八時芋茎トハチメ煮物竿布ノ下ヘモノヤランハ今夜<sup>口</sup>ムノ晴ノ二十日午前七時御葉朝食十時麦飯芋茎小豆汁下も遣ノ炭一俵孫三門被来<sup>ル</sup>四時御葉八時夕食カユニ自身ノ漬タル香物揚物血少下ル篋拵貰處本防屋根茸師<sup>ニ</sup>頼持行也但シ小米木団子二ツ食ノ本日渡辺君金沢に出立之由相上同屋至急登足取両子へ貰文通ノ晴ノ二十一日午前七時御葉九時朝食飯打大豆汁布入コウコノ十一時主校ヨリ廻達来ル但シ山田尚信殿郡書記ノ学区取締兼務達也午后一時昼食残汁也ノ同時二郎衛使頼ニ行本防奥方来ル才勇君公下へ<sup>行参店に</sup>四時御葉八時夕食味噌カユ病人<sup>へ</sup>送ル干鱈ト九時臥ノ本日血止米壺升磨ノ折烟草入六ツ仕上

30 丁 雨ノ五月二十二日午前七時御葉八時本日ヨリ出校<sup>ス</sup>生徒貰出校ノ帰宿ス帰り<sup>が</sup>け<sup>ニ</sup>本防へ立寄十時四十分也夫ヨリ朝食<sup>ス</sup>十一時ノ布粥病人<sup>へ</sup>与<sup>ル</sup>午後二時才勇公帰宅四時御葉同時にノ宅へ送ス文認<sup>ハ</sup>八時夕食海苔粥病人

好處本日両度ノ共カユ九時飯焼作日之手当九時三十分臥才勇公ニ折烟ノ草入老貰代五錢受取ニ血少下ルノ晴ノ二十三日午前七時御葉八時朝食若布同時出校十二時終ノ帰宿ノ屋へ吉助内宅ヨリ達<sup>ニ</sup>来<sup>ル</sup>則宿へ帰り其由を傳へテノ同屋シテ宅へ帰ル午後二時昼食干蘿蔔汁夕食八時ノ鱈ト干蘿蔔貝炙本日貞吉芝居見物行帰リ午後十二時達帰ニノ成吉助同屋<sup>ニ</sup>納テ帰ル夫ヨリ莫見成臥血不止道之一<sup>主</sup>須<sup>へ</sup>新貨拾<sup>ノ</sup>銭施<sup>ス</sup>ノ快晴ノ二十四日午前六時起朝食カユ若布八時食ス柳女中佐へ招カレノ芝居見物身留置役学校作病届九時頃ヨリ泥面来<sup>リ</sup>一人言夫ヨリノ閉目閉耳閉口仕方ナク出行直<sup>ニ</sup>帰出<sup>テ</sup>引返シ来<sup>テ</sup>又一人言ダラダラ身ノ前之如加出<sup>テ</sup>行十二時網子フミ来ル昼食シテ詫<sup>ニ</sup>出<sup>ル</sup>午後一時貞吉昼食<sup>ニ</sup>来<sup>ル</sup>又泥面来<sup>ル</sup>同時<sup>ニ</sup>貞吉祝方に<sup>行</sup>二時身昼食シテ前之如泥一人言ノ良久シテ屁放夫ヨリ泥氣色取巨言雜言身<sup>前</sup>之如仕方モ貰柳女のノ帰<sup>ル</sup>ヲ待莫終日之始終<sup>ヲ</sup>口説立<sup>ニ</sup>柳さの心よむなしき會釈

31 丁 コスノ<sup>籠</sup>果<sup>ヲ</sup>出行ザマ収家内打寄大笑午後九時夕食シテ臥本日ノ血五勺斗下ル休業也ノ晴ノ午後雨風ノ二十五日午前八時御佛壇御掃除九時朝食湯漬味噌漬茄子十時ノ立相上たけ見送<sup>リ</sup>艾五拾目久保店ヨリ取價拾七錢五厘アブラメ

三ツ小魚八ツ干若布出搗砂糖一曲シル糖五拾目<sup>ト</sup>紫蕨石灰油式合余ノ氷蘿蔔二本等持帰宿ス病人悪ク本防奥来リ良有而本坊へ行ノ小重返スアブラメニツ呈ス午后二時昼食二十三日之冷飯布汁四時御葉ノ三週間分四十二包七分ツノワケ包八時夕食鯉味噌干鱈病人悪ク十二時臥ノ血下り止ノ晴ノ天小風午后五時ヨリ雨ノ二十六日午前七時御葉漬出立ル八時出校ス朝食弁当紫蕨煮物ノ十時<sup>ニ</sup>食<sup>ス</sup>生徒不出仁三郎申十二時帰宿午後二時昼食若布之端干梅ランフノ掃除本夜ヨリ燈京願冬五十本求椿原<sup>ヨリ</sup>價六錢五厘澤田ヨリノ炭一俵持来<sup>ル</sup>使仁三郎四時御葉米一升磨夕食紫蕨九ノ時<sup>ニ</sup>食<sup>ス</sup>血下り不止病人悪ク十一時臥ノ雨ノ晴ノ二十七日午前七時御葉八

時出校朝食持参水蘿蔔煮物若布／午后一時昼食  
帰宿昼食朝之煮物四時御菓八時夕良タナゴ蕨塩  
二ツ／石橋内京願冬七十本持来ル價椿原同病人  
悪く十二時臥

32 丁 血下り不止／晴天／二十八日 午前  
七時御菓八時出校濁酒之惠持参澤田ヨリ一憲／  
貰フテ午后一時帰宿四時御菓六時昼夕食白カユ  
コウコ血少下ル／小糖三升塩二升線香二十九申  
送ス使田福姉右持帰ル手当／壹錢五リン送ル／

快晴／二十九日 午前七時御菓八時朝食若布  
汁香物同時出校午后一時／帰宿夫ヨリ願茹ル数百  
式拾本塩式升小糖等分薪九本借／三時終處外鍋  
磨返ス四時御菓長井八重宅返ル逢自身之炭／  
本日迄焼終八時夕食小鯛菜漬之塩出し味噌煮  
才勇／公初ア片餅五切貰フ 血病急ニ成リ少シ  
下ル病人悪く／十時三十分臥／晴 昼后雨／  
三十日 午前七時御菓八時朝食フキノクヅ汁同  
時出校本日／氏七姫氏助門病人之噂人之来ル  
午後一時帰宿夫ヨリ願冬漬漬ス／二時濁酒壺本漬  
出タクワン漬菜漬等持参帰宿三時也四時御菓夕飯  
ハチメ／片身メイ入湯九時臥血同変漬山一下り  
／晴天／三十一日 午前七日（ママ）御菓十  
時朝食コウコメイ同時宅ヲ出 會集貰由聞／  
夫ヨリ加藤へ病中見舞之返紙に出クを母ニ逢テ帰  
ル次高森へ右同日内ギ

33 丁 病氣見舞出ス御茶御菓子等馳走ニ逢次  
吉岡君へ出御茶吞テ／持帰り速く其間ニ三谷へ  
出午后二時十分ニ立又帰リ吉岡へ入先生ニ逢テ  
集／會之由聞会テ帰ル夫ヨリ又高森店ニ暫時休足  
シテ出夫ヨリ大原へ行／病中見舞等返紙之分出  
テ長々話成バン茶片餅沢山食テ長法寺／部屋離  
縁之由聞テ立ツ夫ヨリ正門へ出福子氏逢返紙前ニ  
同／御茶御菓子等馳走ニ成長々話シ成帰ル次ニ田  
中へ立寄帰宅七時迄／御菓戴一時間ヲ経テ夕食  
ハチメ片見ケンソ汁等八時臥貞吉入湯行帰り／  
十一時頃異見無蒸成誤臥シム 血同変也饑四ツ  
食ウ寝食／本日留之中へ布達一通宅田持来ル由  
／

晴天 日よし／六月一日 午前七時御菓八時朝  
食白カユケンチン少食スメイ コキエンド／五

リントシナボン一下り四郎三郎来ル団子一白拵  
ル 三谷姉ヨリ鯛大小寸／七枚送テ昼食芋蕨（梗の  
ことか）小豆加汁メイ小キ研陳一ツ求代四錢五  
リン丈左衛門店使／フミ四時御菓金沢ヨリ富樫  
紙面到来別ニ清書一葉画清書五葉襦／袴等使相  
上下り物少届く／晴天／二日 午前六時御菓  
七時朝食小豆カユ茄子漬シタシ夫ヨリ持参物／  
白米四升鯛三枚ハチメツアブラメツ醤油壺  
本草団子五ツ同押切／十五切白砂糖少附本二本  
右品々相上たけ持せ見送リス宿へ着八時三十分  
／病人悪く 東左衛門母昨夜ヨリ来ル由噂人二  
人居出校九時回案一通

34 丁 下三井校へ送テ使ニツ屋村午后一時帰宿  
米一升磨団子二ツ食／夫ヨリ本防へ行印案持参  
院主渡ス價拾六錢受取帰四時御／菓五時団子  
二切食テ昼夕食八時塩鯛一ツアブラメ抜ワタシ  
ソ等ニ／病人悪く十日臥本日血止ル 本日水氏  
助汲／晴／三日 午前七時御菓八時朝食若布  
煮草団子三切ツ、母さ／二人に送ル水。家より  
汲。同時出校ス 谷口左衛門死由聞午後一時沢  
田田植／厚葉飯一ツ貰同時帰宿二時昼食厚葉  
飯四時御菓／八時夕食塩鯛煮布本日血不下病人  
悪く終夜伽線焼通／同時ヨリ九本焼四時四十五  
分迄ニ日出合下り物止ル／雨強／四日 午前  
七時御八時朝食白カユ同時出校午后一時帰宿  
／同時本防へ行奥方ヨリ新貨拾円借用之事十月  
五円十二月／五円返上之定メ同時認宅へ送テ二  
時昼食若布コウコ氏助／水汲メ宅ヨリ線香式連  
送ル使寺坂チカ四時御菓五時呼に／送シ柳女同  
時来ル松風少小鯛に鮎持参新貨拾円渡ス／才勇  
君ヨリ片餅二十二枚貰フ則炙而食ス八時夕食ハチ  
メト／アラメト煮ぶさし后九時三十分犀角壺  
分煎吞テ臥／下り物貰／雨／五日 午前七時  
御菓八時朝食ソラマメ寺下ヨリ貰フ則メト煮

35 丁 食スコウコ同時出校ス日当書付ニ宿賃照  
念寺書付両通／学校總代澤田久左衛門に送ス使  
七品至午后一時帰宿同時本防へ／行大工頼犀角  
削テ貰フ四時御菓六時昼食少八時／夕食アブラ  
メ井リガイコウコ犀角一分位吞テ臥下り物／貰  
氏助サ水汲。新貨式円。式錢二厘貞吉履金受取

由

晴天／六日 午前七時御菓八時朝食ソラマメ煮物残コウコ同<sup>ニ</sup>出校<sup>ス</sup>／午后一時帰宿昼食コウコ新貨四拾銭日当沢田久左衛門／持来ル四時御菓八時病人残命夫暫有而帰宅ス／九時三十分也夕食少津村来ルー下リアンマ取臥下リ／モノ止土よう晴／七日 午前七時御菓八時朝食タクワ漬相上来ル両子／へ傳言之事頼ム昼食蚕豆煮付浅田奥方来テ願冬／茹ル七時御菓八時夕食塩イワシ少蚕豆等四人連入湯／九時臥下リモノ貰本日病氣紙面主校へ出シ決席ス／使相上タケ午后二時<sup>ヨリ</sup>煎米拵砂糖打三升金沢両子へ／送ル使相紙面不送／晴 日よし／八日 午前七時御菓八時朝食タクワン昼食蚕豆山田君／宿へ行残三へ立寄帰リ<sup>ニ</sup>津村へ同白藤新宅ヨリ油ツギーツ／價五錢五リン借帰リ刀衾内使帰宅之由饅数三十送ス

36 丁 價拾五錢使吉助内 高森<sup>ヨリ</sup>先人兩人法事供養前部一／人口物持<sup>ニ</sup>逢御馳走之内兩三品持午后四時柳女見送／帰宿ス同時<sup>ニ</sup>御菓蠟燭五貼宿母宅御佛前へ供別／焼麩<sup>ノ</sup>かず三十兩品之價拾五錢 夕食九時高森ヨリ持參ノ／品々等十時犀角吞て臥／強／九日 午前七時御菓八時朝食同時出校昼仕舞宿帰<sup>ル</sup>／十二時昼食メイ汁午后四時御菓八時夕食メイ汁残って犀／角吞て臥下リ物貰平井先生六日着本日<sup>ヨリ</sup>出校／晴／十日 午前七時御菓八時朝食<sup>ヲ</sup>干蕨煮物同時<sup>ニ</sup>出校昼仕舞／帰宿夫ヨリ衣服着替葬礼参詣聞口切午後四時御菓／七時夕食昆布汁紫蕨八時犀角吞テ臥下リ物貰八錢／石橋かかサへ渡ス照念寺仕上<sup>ニ</sup>招使才勇君皆月姉さとワジマ／かかさと来ル事毒煮物不參／晴／十一日 午前七時御菓八時朝食下ヨリ香物壺本貰<sup>テ</sup>／食<sup>ス</sup> 九時学校へ行村方休<sup>ニ</sup>付々時二日休業也□□借上／金三錢<sup>ニ</sup>付三ヶ村之相請<sup>ヲ</sup>待良有而帰宿<sup>ス</sup>藤枝丈ヨリ／紙面到来使氏助さ發見<sup>ス</sup>貰事也石川様ト申管員様

37 丁 之御依頼物□焼月付呈し寺西君取次之由思取<sup>ニ</sup>可外トノ／変って物裳色係五把下され外由<sup>ニ</sup>て戴致河波様／奥方之相談<sup>ニ</sup>従ひ先生へ

三把呈し式把身<sup>ニ</sup>送而て氏／哉トノ声存着手致ス也此内<sup>ノ</sup>一杷弥之女へ送し致旨申来ル<sup>ニ</sup>分配之事本日ハ帰宅成難ク何レ土よりうト思ム居昨日ハ／新築新立<sup>レ</sup>由也午后二時昼食コウコ四時御菓九時頃／風邪未作下リ等有□不換金<sup>ニ</sup>此□三貼調合<sup>ス</sup>一貼吞て臥／山作店ヨリ煙草小玉一ツ使氏助サ本日着手之紙面頼母承<sup>テ</sup>事斗見ス何レ暑中休科待治良丈ヨリ弥三女スへ送り□／分も見ス□承處貰限両みさふ斗出／晴／十二日 午前七時御菓八時朝食白カコウコ九時出校同／時<sup>ニ</sup>帰宿十一時宅へ帰<sup>ル</sup>昼食コウコ竹子飯一重角藤<sup>ヨリ</sup>／貰則土産<sup>ニ</sup>渡辺君御家内御引越四名九日帰着之由聞／御菓子壺箱戴<sup>テ</sup>四時御菓六時夕食コウコ七時兼用一貼／八時臥下リ物止帰リ掛<sup>ニ</sup>中橋へ立寄至<sup>ニ</sup>逢作衛線香價／借用返濟内ぎ<sup>ニ</sup>渡<sup>ス</sup>／晴／十三日 午前七時御菓同時<sup>ニ</sup>目洗薬調合<sup>ス</sup>柳女ニ与本日目少／直昼食カウコ午后四時御菓奥方ヨリ松風五枚貰<sup>テ</sup>兼用／壺貼五時二十分用夕食小鯛打身汁同雪平<sup>ニ</sup>壺杯奥に進<sup>ス</sup>

38 丁 生酔少右両品新貨九錢<sup>ヲ</sup>母さ<sup>ニ</sup>借用返濟八時臥酒壺本貰／晴／十四日 午前七時御菓十時朝食コウコ柳女市へ行饅三ツ食／団子一ツ小鯛<sup>ト</sup>白豌豆煮付貰十二時骨合之二貼用四時本方一貼／七時大鯛刺身<sup>ト</sup>煮付一皿ツ、貰 同時<sup>ニ</sup>夕食皆分配ス九時兼用／一貼用十一時當住を廣瀬前<sup>ニ</sup>酔碎臥山形来<sup>ル</sup>吉吉抱来<sup>テ</sup>一夜／泊<sup>ス</sup>置十二時皆臥／晴 日よし／十五日 午前五時三十分當住を酔醒起立直郡役所行／午前七時本方。下リ二度嘉等可火箸持来<sup>ル</sup>價六錢之由午后一時／浅田氏山田へ替宿<sup>ニ</sup>付立寄皆左留置山田兄キ申置テ／出<sup>ス</sup> 室谷花刺一ツ上ル笹崎君へ両子之話シに出花刺一ツ呈／高森へ八日法事供養御使<sup>ニ</sup>出<sup>ス</sup>菓子一箱母屋土産午后三時／帰宅四時本方一貼用て同時<sup>ニ</sup>熊野氏へ出則主人<sup>ニ</sup>逢一種／々話合之上治良全<sup>ク</sup>課卒業義若搦場合之模様也／立寄<sup>テ</sup>要崎替宅見舞立寄リ帰宅<sup>ス</sup>五時三十分／時々渡君<sup>ニ</sup>御茶頂戴<sup>ス</sup>八時<sup>ニ</sup>ソバ出シ食 夕食鯛之煮付／本日大崎店屋家造<sup>ニ</sup>付貞吉手傳<sup>ニ</sup>遣玉素麵三ツ／送ス使吉助キク

39 丁 晴／十六日 午前七時本方一貼用九時朝食<sup>ソバモシ</sup>干梅に昼食十一時直<sup>ニ</sup>／出立ス見送り津村カカサ女正午帰宿ス鯛一枚本防へ土産醤油／壱本石炭油壱本持帰ル午後四時本方一貼夕食八時／白カユコウコ九時兼用一貼用十時臥午前二時頃大雨／右相上使 病氣由聞藤枝丈紙面到来おしの屋届ヨタレカケ綱子へ菓子袋身へシヤツ／梅之花口ユ 白ノロー面／本日午前七時／ヨリ煙草禁ス／十七日 午前七時本方一貼八時朝食メイ汁<sup>ニ</sup>コウコ十時兼／用一貼服夫ヨリ臥午後一時起立<sup>ス</sup>奥方声聞眠醒午後四時／本方同時平井宿迄行五時奥方證書改納八時夕食／塩鯛一同時笨桂加羌一用九時臥／曇風／十八日 午前七時本方一 八時朝食古クモジ味噌煮 名簿二銭出ス使等／さんスカスミス同店トリニ參ル平井迄送<sup>ス</sup>事十時笨桂加／羌一貼用十二時昼食白粥コウコ四時本方一用六時不換笨今口／五味与幸白波兼用補中益氣湯壱曲價拾式銭本日／月給三円請取則沢田に渡ス別<sup>ニ</sup>五拾銭送之<sup>ニ</sup>返<sup>シ</sup>指引／明日之處衛藤<sup>ヨリ</sup>団子壱重貰七時夕食茗荷煮八時兼用之ニ半服用而臥／雨／十九日 午前七時本方一杯八時朝食氷蘿蔔煮醬油膠<sup>ニ</sup>少貰砂／糖少加<sup>テ</sup>食<sup>ス</sup>二度口八時三十分センコウノ香チラトキコユ夫<sup>ヨリ</sup>昼寝

40 丁 醒時正午也昼食湯漬膠午後二時沢田米五斗價之<sup>限</sup>／式拾銭送<sup>リ</sup>送<sup>ス</sup>貰使仁三郎三円三拾銭<sup>ト</sup>菓代八銭右指引／相附由<sup>ニ</sup>請取出入手午後四時本方一杯時間前<sup>ニ</sup>補益煉菓一呑用／兼用壱貼<sup>ト</sup>夕食麦飯膠六時沢田行帰宿八時／晴／二十日 午前七時本方一杯八時朝食麦飯膠同時出校／午後一時帰宿麦飯仕舞二時出立三時帰宅四時本方休業／補益用六時夕食小鯛ヲデン七時柳女三谷へ送ス弥三丈／曾々木長岡行<sup>ニ</sup>由拵蒸菓子十入壱箱價拾九銭ニ／三谷兄公へ病氣見舞送ル九時帰ル同時臥／雨／二十一日 午前六時朝食<sup>メ</sup>本日休業七時出立三十分帰宿八時／出校ス<sup>五</sup>日煉菓<sup>ト</sup>蚕豆五合斗中橋たけ女持来ル午後一時／帰宿昼食焼麩夕食蚕豆煮付 坂本や店ヨリ焼<sup>シ</sup>麩十取テ帰宿 平井公荷物老<sup>ノ</sup>相上へ頼小石送ル取<sup>リ</sup>分ヲ私宅出ス使村半分改帰<sup>ル</sup>サ

穀紙七冊等持帰ル則平／井君迄送ル／雨 日よし／二十二日 本日朝飯<sup>ヨリ</sup>朝食事丈塩魚本方休業ハツカ

41 丁 セン壱列調合製煉<sup>ス</sup>終日<sup>ニ</sup>三度服用ス昼食／布粥蚕豆煮付平井君羽織送<sup>ス</sup>夕食麦飯<sup>ニ</sup>焼麩二ツ／沢田へ送ス大鯛一枚津村かサ持来<sup>ル</sup>昼刻店持送老時／鯛身ヲロシ半尾同直子小鯛薄焼一ツ持来ル 子煮置<sup>シ</sup>午後八時四十分河井町火崎渡薩撞<sup>シ</sup>ノ下次助、チヨコ／大事之由十時臥沢田<sup>ヨリ</sup>炭小俵一ツ／曇天／二十三日 午前六時補益煉菓終日三度服用本方休業八時／朝食貰塩同時<sup>ニ</sup>出校金藤義逢送ス 主特柳女氏二口公／学校へ来<sup>ル</sup>午後一時同屋新築屋敷一見帰宿<sup>ス</sup>白米／壱升団子一重持參暫時休足<sup>シテ</sup>帰<sup>ル</sup>二時昼食鯛ノ子／玉子ト炙付<sup>テ</sup>食ス 才勇子<sup>ニ</sup>片餅少貰夕食十二時鯛／薄塩同時<sup>ニ</sup>臥／晴／二十四日 午前六時補益終日三度服用本方休業八時朝食貰／塩同時出校午後一時帰宿昼食塩鯛一切平井先生へモ／一切送ル使仁三ヨリ才勇君<sup>ニ</sup>素麵一ツ貰夕食置汁／茹漬等／曇 六時大雨／二十五日 午前八迄連日<sup>ニ</sup>同午後二時帰宿フラフ連持參<sup>テ</sup>帰<sup>ル</sup>

42 丁 三時昼食塩鯛若布煮物等才勇君<sup>ニ</sup>大饅一ツ生菓子一ツ貰／八時三十分臥 五時<sup>ニ</sup>本防へ行時計合<sup>シ</sup>御茶菓子戴帰ル／皆月長頼寺<sup>ニ</sup>久逢處ポント着手<sup>ト</sup>送礼<sup>ス</sup>ワジマかかサ／止<sup>メ</sup>ル口論数度白米四升沢田<sup>ヨリ</sup>持来ル使仁三衛／大雨 昼後晴／二十六日 午前六時補益煉菓夫<sup>ヨリ</sup>本防へ行時計持帰<sup>ル</sup>水／昨日ヨリ貰 六時三十分貰塩朝食七時三十分出校ス八時授業／初午後一時仕舞同時帰宿二時昼食若布六時夕食麦／飯若布カウコ等本日ヨリ又本方用八時臥／晴／二十七日 午前七時起立朝食貰塩七時三十分出校平井当直本方／時間ヲクレ休業<sup>ス</sup>八時ヨリ十二時迄同時<sup>ニ</sup>帰宿ス本日照念寺大喧嘩<sup>ノ</sup>之由<sup>ニテ</sup>双方口付大変々々午後三時<sup>ヨリ</sup>金藤義母来<sup>ル</sup>／兼茶カキ餅等<sup>ニテ</sup>帰<sup>ル</sup>五時四十分也六時夕食本防ヨリ凝海藻／二本貰味噌粥本方休業八時臥／晴／二十八日 午前五起立朝食貰塩六時柳女来ル朝食冷飯<sup>ニ</sup>／コウコ食シテ帰<sup>ル</sup>宿<sup>ヨリ</sup>香物七本

斗貰て行二銭を置いて行／醬油徳利持て帰ル七時二十分出校十二時仕舞同時<sup>ニ</sup>帰宿<sup>ス</sup>／沢田<sup>ヨリ</sup>団子三ツ貰二ツかじや<sup>店</sup>母さ<sup>ニ</sup>送ル才勇君<sup>ニ</sup>胡瓜一本<sup>此モ千五枚</sup>貰

43 丁 昼食味噌粥残コウコ午後一時<sup>ヨリ</sup>臥起立四時宿<sup>ヨリ</sup>醬油／之醪少貰夕食六時塩出シコウコ醪煮／晴天 日よし／二十九日 午前六時起立朝食貰塩九時小上防始胡瓜／四本持来<sup>ル</sup>但<sup>シ</sup>次之助内義頼置價老銭二厘渡ス昼食胡瓜／味噌付<sup>テ</sup>食<sup>ス</sup>午後一時吉ノ内来<sup>ル</sup>但<sup>シ</sup>本防へ使<sup>テ</sup>来<sup>ル</sup>由立寄三時か罷来<sup>ル</sup>鯛煮付身ヲロシ片身残薄塩胡瓜六本／鯛一切鯉節老本若布七百目斗分老通持来<sup>ル</sup>夕食六時鯛煮付鯛炙皆月姉さん当直場<sup>ニ</sup>招中入也／八時臥胡瓜ノメンケシ小便三度／快晴／三十日 午前七日（ママ）起立同時朝食貰塩炭之話申来<sup>ル</sup>／七時五十分出校金藤<sup>ヨリ</sup>氷室御菓子老重別<sup>ニ</sup>片餅一袋／持来<sup>ル</sup>十二時仕舞<sup>ニ</sup>帰宿<sup>ス</sup>同時<sup>ニ</sup>昼食鯛煮潮煮胡瓜／本防奥方枇杷持参メカブ少宿<sup>ヨリ</sup>味噌小重一ツ貰／嘉羅丈に塩鯛大一切口で送ル夕食氷大根鯉味噌煮／九時臥線香一者使才勇公／快晴／七月一日 午前六時起立七時朝食無<sup>ク</sup>七時五十分出校／八時校授二課終<sup>ル</sup>處へ小伊勢小学校教員来<sup>ル</sup>十一時<sup>ニ</sup>仕舞而帰<sup>ル</sup>十二時昼食麦飯胡瓜奥方来<sup>ル</sup>二時間

44 丁 居<sup>ヲ</sup>夫<sup>ヨリ</sup>長信連様墓へ参詣<sup>シ</sup>出想<sup>ル</sup>三時二十分／次山岸村住吉宮へ参湯次山岸瀑見物次砂走之水車／夫<sup>ヨリ</sup>川<sup>ヲ</sup>渡<sup>リ</sup>小川觀音様参詣帰宿八時百合花貰／て立<sup>ル</sup>ニ置而願冬取来<sup>ル</sup>九時夕食塩鯛胡瓜等／奥方ヨリ布三尺斗線香老本貰テ帰<sup>ル</sup>／晴天／二日 七時二十分起立同時朝食貰塩八時出校午後一時／帰宿石花老銭口次与吉内胡瓜二本貰和布二百目斗／四品送ル同佐二分へ送ル濁酒二合斗源右エ門ヨリ貰／使石橋内夕食麦飯若荷煮物炭小俵一ツ價五銭／使氏助内<sup>ニ</sup>八時入手金藤氏<sup>ヨリ</sup>手製上茶一本貰／晴天／三日 七時起立朝食貰塩七時五十分出校午後一時三十分／帰宿夫<sup>ヨリ</sup>昼食煮二時三十分食ス二置而願冬汁／午后四時本日<sup>ヨリ</sup>御菓頂戴<sup>ス</sup>此頃ヨリ病血下り本日数度／老合余下ル金藤<sup>ヨリ</sup>樹木の梅式升詔三升送<sup>リ</sup>来<sup>ル</sup>／使等さんスガ女スミ

母照念寺宅ヨリ老升余貰六時夕食同／昼<sup>ニ</sup>八時臥／雨／四日 六時起立朝食貰塩七時五十分出校（午が脱けている）后一時帰宿<sup>ス</sup>／直<sup>ニ</sup>帰宅持参物口濁酒等三本梅二十三莖籠等／二時郡役所へ出<sup>テ</sup>露盤清取書付見留古市君夫<sup>ヨリ</sup>白藤へ

45 丁 行帰<sup>リ</sup>多作さんへ立寄昼食生豆腐四時本方六時夕／食三九衛<sup>ヨリ</sup>海を煮付貰<sup>テ</sup>帰ル小糠鯛一ツ／本日金藤<sup>ヨリ</sup>梅式升詔三升使スカ等スミ式升照念寺にヨ<sup>ク</sup>□□□（掠れて三文字解説不可能）／小雨 土よう／五日 午前七時本方同時五十分朝食貰塩／八時二十分輪嶋主校に集會出頼ス午後一時昼食／平井同所栄螺胡瓜生酢平箒<sup>ト</sup>栄螺蕪三杯漬／二時主校へ同所<sup>ニ</sup>出頼兩組合校教員四十名會頼／田伏先生委員熊野先生福田先生井熊先生／□外女教員三名校山井原身四時退直<sup>ニ</sup>帰宅ス／同時<sup>ニ</sup>本方七時夕食メイトサトウ三谷姉来<sup>ル</sup>砂糖少工産饅十漬山一下<sup>リ</sup>本日次与吉姉／メカブ五銭切借／雨 日よし／六日 午前七時本方八時朝食貰塩昼食焼麩<sup>ト</sup>胡瓜煮／物渡辺君<sup>ヨリ</sup>貰<sup>テ</sup>食ス五時本方八時夕食鯛少／おやき六ツ両子へ紙面出ス使相上／雨／七日 午前七時本方八時朝食本日ヨリ柳女依<sup>テ</sup>襪界ス／本日ヨリ四郎三衛来<sup>ル</sup>勝手板之間張替松板九尺深太衛店／<sup>ヨリ</sup>代價四拾五銭昼食メイ汁四時本方夕食八時コウコ九時臥

46 丁 治良ヨリユウヒン出状置連ス昼刻迄出校ス使小梅／雨／八日 午前七日本方八時朝食昼食コウコメイトウフ四時菓／切<sup>レ</sup>貰夕食残鯛潮煮カツコトウフ本日四郎三衛雪隠仕事長江寺／ドオケ後入五筋代拾銭貞吉雇カタクリ団子胡麻醬油／小雨／九日 午前七時出立八時帰宿柳女見送<sup>リ</sup>持参物カタクリ／少焼麩六ツ醬油老本帰<sup>リ</sup>之御味ソコウコ送<sup>テ</sup>朝食貰／七時五十分出校二課勤<sup>テ</sup>帰宿<sup>ス</sup>昼食素正汁メイ／宅へ使送<sup>テ</sup>塩四升生姜胡瓜麴二合照念寺ヨリ／詔之梅三升四時本方六時夕食素麴汁八時澤田久左衛門／兄日当九拾貳銭持来<sup>ル</sup>九時臥／雨／十日 午前七時本方朝食七時五十分出校七品を分／に米代中勘五拾銭渡ス午後一時帰宿葛粉砂糖加<sup>ク</sup>冷水<sup>ニ</sup>吞昼食メイ汁二時梅漬ル四郎衛門紫糍

葉／持来ル代三錢五リン四時本方本日艾葉切七  
トツツ掛ル数二十九／包有合ニ犀角一ト五リン  
才勇君へ用由六時夕食カユメイ／明十一日ヨリ  
コレ病 付休業之事開業之見込ハ后二齊連  
也／□小学校□休業九時臥

47 丁 雨／十一日 午前六時起立本方七時  
朝食八時飯櫃覆竹糰／編之正午不換金加紫胡黃  
茶三貼煎皆月姉さんト身／兩人拵付□□ニ用也  
午后一時昼食焼麩煮テ白砂糖拾錢切／求使栄左  
郎<sup>則</sup>二時持參角藤氏行七時帰宿ヨリ／大麦煎  
粉一器貰夕食八時經節味噌メイ／犀角式ト才勇  
公へ／ 晴／十二日 午前六時起立諸道具始未  
スル七時本方八時朝食同時ニ七／尾湊へ行人足  
頼並石橋へ新貨拾錢渡<sup>但</sup>六錢五リン筆／三  
錢五リン蕪葉代之拾八錢七衛ヨリ米四升代並老  
分類／夫ヨリ本防へ梅瓶渡<sup>メ</sup>梅漬渡シ昼食白カ  
ユ持參仕舞拾錢才／勇公へ茶代拾錢皆月姉さん  
へ茶代式錢を加罷て犀角式ト／才勇公へ帰宅御  
正岳撰老本貰人足三人石橋等五時帰着／皆月姉  
さんト加罷稻荷社迄見送り夕食コウコ七時本方  
／八時臥夫ヨリ柳女蕎麥ゼンゼン奥方へ  
ゼン送身半個／貯並口中薬式錢／ 晴 天少月  
日よし／十三日 午前五時起立<sup>ス</sup>七時本方八時  
朝食コウコトメイ煎／粉上茶九時大麦一升余煎  
十時三十分治良帰宅ス健也藤枝義／病氣快氣聞  
禁物之煙草解 昼食メイ胡瓜漬夕食

48 丁 小糠鯛一ツ煎粉メイ等 仙舊□□一下リ  
本日ヨリ休業<sup>ス</sup>／ 快晴／十四日 午前六時起立  
同時又血下リ本方頂戴<sup>ス</sup> 本日藤枝丈／試験之  
日ニ当<sup>ル</sup>難斗今改<sup>メ</sup>煙草禁土産へ祈誓<sup>ス</sup>／朝食メ  
イ団子一ツ食胡瓜印籠漬少押昼食メイ／午后一  
時ヨリ昼寝起立三時四時本方□七時夕食小鯛塩  
願冬若布ト／煮物八時切スシーツ半八時臥 両  
子ノ諫言ニ立寄又解／ 快晴／十五日 午前六  
時起立七時本方八時朝食メイ九時照念寺へ醬油  
老升／屋指送ス使か代女四郎衛ヨリ濁酒貰て帰  
ル相上来<sup>ル</sup>昼食酒／壺合半鯛ニヨブ一統相上ニ同  
身メイ二階替残張口治良也氏ニ良／公手傳当残  
五枚價九錢コシ張紙七錢廻ノ垣<sup>井</sup>ニ掃除三子也  
／本日昼后貞吉休帰<sup>ル</sup>三谷姉ヨリ餅老包治良丈

に送<sup>ル</sup>使兵三衛／かかサ四時本方同時ニ佛壇掃  
除片餅炙七時夕食小鯛菜漬／塩出し煮物九時臥  
本日少朝漬梅干物／ 快晴／十六日 午前五時  
起立梅干七時本方同時御佛典八時朝食干メイ／  
昼食葛彩粉梅漬生姜四時本方饅一ツ藤枝丈ニ紙  
面送ス／治良ヨリ夕飯味噌炙炙宮崎来<sup>ル</sup>三谷姉  
来<sup>ル</sup>味噌漬蘿／荷持參帰<sup>リ</sup>十時同時臥本日宅田<sup>ヨ</sup>  
リ開業ノ布達事

49 丁 晴／十七日 午前六時起立梅干七時  
本方八時朝食ミソツケ昨日ユウヒン時刻／後レ  
シ處辰本日九時頃指送ス使<sup>ニ</sup>昼食コウコ四時本  
方六時夕食／小鯛塩願冬七時入湯帰リ少シ悪く  
策雲奥ヨリ代價拾錢取屋／品屋治臥／ 曇天／  
十八日 本日干梅止七時本方九時朝食コウコ十  
一時ヨリ寝起立午后四時／三十分六時本方七時  
二十分夕食海ツケ温昼食貰片餅炙本日□／竿  
角藤来ル由渡船出帆日寿持三嶋女に紙面不出傳  
言而已九時／臥／ 晴／十九日 午前五時起立  
梅干七日本方八時朝食コウコ昼食／オカラ汁二  
階張紙出送□四時本方七時夕食鯉昆布卷本日／  
砥ノ彩十價式錢膠壺錢五厘九時臥本日月給三円  
受取／平井君ヨリ送<sup>レ</sup>袴裏返し受取／ 晴土用  
入日より／二十日 午前六時起立七時本方八時  
朝食コウコミソツケ昼食／コウコ四時本方六時  
夕食昆布卷一本砂海□九時臥午前二時頃／下<sup>リ</sup>  
ス／快晴／二十一日 午前六時起立下リ本方七  
時同時下<sup>リ</sup>ス八時朝食少九時／下リス又下リ十  
時不換金加荷□二貼服<sup>ス</sup>十二時昼食鯖煮付／下  
リ止本日四時本方止メ前方一貼ヲ服シ八時夕食  
シテ臥

50 丁 快晴／二十二日 午前六時起立前方  
一貼服<sup>ス</sup>八時朝食梅漬九時糰／香正氣散一貼本  
日天水散老副製一日ニ五分ツ、暑氣拂ニ兼用  
十二時昼食水蘿蔔汁治良ニ<sup>天</sup>水處副製<sup>ス</sup>四時前方  
一貼用／六時夕食<sup>津</sup>頼母子料理小鯛焼麩又頼  
平一ツ八時臥／ 晴／二十三日 午前六時起立  
同時四十分夕立下<sup>ル</sup>八時朝食コウコ／ 晴／二  
十四日 午前八時郡役所ヨリ治良呼<sup>レ</sup>来<sup>ル</sup>則ケイ  
エキ取分／<sup>勞</sup>生ニ出頭<sup>ス</sup>一昼夜ノ雇料三拾錢五  
リンノ由本日相上立藤ノ枝丈に傳言ノ也前方二

貼天水處二包／晴／二十五日 午前八時治良  
 帰宅ス数品内西瓜一貫<sup>ア</sup>本日／休 前方二貼天  
 水處二包／晴 雨／二十六日 午前七時治良  
 出勤<sup>ア</sup>同三十分身出校月給三円／持参<sup>ニ</sup>照念寺  
 へ行昼刻学校出則止暫時平井ト話シテ帰宿<sup>ス</sup>／  
 昼食宿<sup>ニ</sup>振舞夕願汁蕨煮付煮大豆御茶菓子柚  
 干也／良有而帰宅片餅一包土産帰リ然<sup>ニ</sup>平井依  
 頼山田君へ立寄<sup>ル</sup>／相悪く老度帰宅<sup>ス</sup>古市君途  
 中迄藤枝へ頼有由帰生禮<sup>ヲ</sup>  
 (未完 その2へ続く)

#### 注及び引用・参考文献

- 1) 大久保英哲、金沢大学教育学部附属幼稚園前史の研究—梅田家文書「幼稚園設立趣意書」をめぐって—、金沢大学教育学部附属幼稚園、金沢大学教育学部附属幼稚園創立120周年記念誌、ゆめにむかって、2007年、67頁
- 2) 輪島男児尋常高等小学校沿革史 第壹号 自創立(明治6年4月)至明治34年3月、輪島市立大屋小学校所蔵
- 3) 宅田小學校沿革誌、(最終記述は明治29年9月)、輪島市立大屋小学校所蔵